

第905号

令和7年7月11日

佐渡市立金井小学校

佐渡ことば・こころの教室

教室だより

通級指導教室開設に感謝！

佐渡市立相川小学校
校長 本間 みどり

教頭として勤務していたころ、担任の先生と一緒に通級指導教室を見学する機会が何度かありました。その際に感じるのは、普段の学級とはまた違ったお子さんの姿が見られるということです。通級での先生とのやり取りの中で、子どもたちはのびのびとした様子を見せてくれ、私自身もその様子からたくさん学びを得ました。また、活動と一緒に参加することで、児童との心の距離がぐっと近づいたように感じられました。保護者の方ともお子さんの成長やがんばりについて共有でき、とても意義ある時間になったことを覚えています。

この度、教室が校内に開設されたことで、担任と通級担当の先生との連携がよりスムーズになり、日々の指導や支援にもすぐに活かすことができるようになります。こうした連携指導は、子どもたちにとっての安心感や自己肯定感につながり、「自分らしさ」を育む大切な一歩になると考えています。

通級指導教室の開設に心より感謝しつつ、これからも子どもたちの健やかな成長を学校全体で支えてまいります。

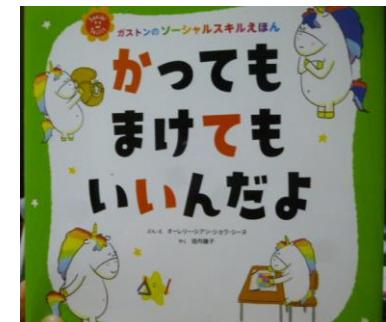
「負け」が苦手なお子さんへ

小学校では5月に運動会が行われました。「勝った」「負けた」がはっきりわかる行事です。普段の生活の中で、勝ち、負けに敏感なお子さんには、下のようなソーシャルスキル絵本を読み聞かせしたりして、「勝っても負けても、大事なのは楽しんで仲良くやること」を確認するようにしています。

運動会で自分のチームが負けてしまったAさんは、帰宅しても悔しさが収まらずふてくされた様子。お母さんは、運動会でAさんが楽しそうな様子だったこと話して、そのときの写真を何度も見せたそうです。そうするうちにAさんは落ち着いてきました。負けて悔しがることは悪くないけれども、そればかりになってしまって、楽しかった気持ちをないがしろにしてほしくないということを伝えたそうです。

とても素敵なエピソードです。

いつもクールなAさんが、運動会では友達と一緒に全力で戦い、笑顔いっぱいで応援している姿に感動したお母さんは、そのことをAさんに伝えたのだそうです。まさに「楽しんで仲良くやる」姿です。そんなお母さんの気持ちを、素直に受け入れることができたAさんもすばらしいですね。（香遠直子）



オーレリー・シャン・ショウ・シーヌ
文・絵
垣内 磯子 訳 主婦の友社

それもいいね

我が家朝のTVチャンネルはNHKのEテレです。はなかっぱが終わる直前で家を出るのが三男。はなかっぱが終わると長男、みいつけた!が終わると次男。子どもたちは時計代わりに番組を見ながら朝の支度をしています。そんな朝の風景の中で、毎朝聞こえてくる歌詞があります。『ちがっていても それもいいね』

Eテレ「ザ・ウェイキー・ショー」で流れる「それもいいね」という、こっちのけんとさん作詞作曲の歌の歌詞です。子どもたちも思わず口ずさんでしまうような軽快なメロディーが魅力です。そしてとても素敵な歌詞だと思います。

通級指導教室みたいに、違う場所で勉強しても、それもいいね。それぞれ勉強の仕方が違っても、男の子がピンクを好きでも、女の子がズボンの制服を着ていても、自分とは違ったとしても、「それもいいね」と言い合える関係でいられたら、誰もが自分らしく、のびのびと生活を送ることができます。子どもたちが何気なく口ずさむように、そんな考えが当たり前な世の中になるといいなあと願っています。(臼木陽子)



第1回運営会議が開かれました

6月17日(火)に第1回運営会議が開かれ、昨年度の報告と今年度の教室運営について審議が行われました。ご意見を今後の教室運営に活かしていきます。

夏季言語検査・情報交換会を行います

7月後半から、保育園・幼稚園・こども園の年長児を対象とした夏季言語検査と、通級児童生徒の在籍校担任との情報交換会を行います。よろしくお願ひいたします。

親の会コーナー

理解と気づき

親の会会長 飯田 里美

会員の皆様には、親の会の活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。親の会会長を務めさせていただきます。よろしくお願いします。

昨年の学習会では、共生社会について考えました。考え方・感じ方は十人十色。物事に白黒つけることは難しい。時として、今ある常識や当たり前が困りを抱える人々にとって壁になることがあります。だからこそ理解が必要であり、それぞれの感性での気づきと想像力(創造力)により、共に考え新たな当たり前を生み出す必要があるのだと思います。

お互いを理解することからの気づき、共に考えることのできる活動にしていければと思います。

6/28(土) 第1回学習会報告

金井コミュニティセンターを会場に、ギャラリー宏介株式会社代表取締役 太田信介様と画家 太田宏介様をお招きし、「きょうだいの絆。～障がいのある弟と共に歩む～」と題した学習会を行いました。

信介様からはきょうだい児の悩みや葛藤を等身大でお話しいただき、様々な方に感動を与える素晴らしい講演でした。

宏介様からはライブペイントを行っていただきました。色彩が豊かで見る人を虜にするものでした。

- 感 感
・兄弟に障がいがある人の心境を改めて考えるきっかけになりました。
- 想 想
・絵が素晴らしい、兄弟で頑張っている姿に感動しました。
- ・きょうだい児の話題は佐渡でもっと扱えるといいと思います。
- ・講話を聴く中で、自身と重なるところがあり、今後について考えさせられる内容でした。好きなことを自由に取り組んでいき、それを互いに認め合うことの大切さと、向き合うことの難しさを認識するよい機会となりました。